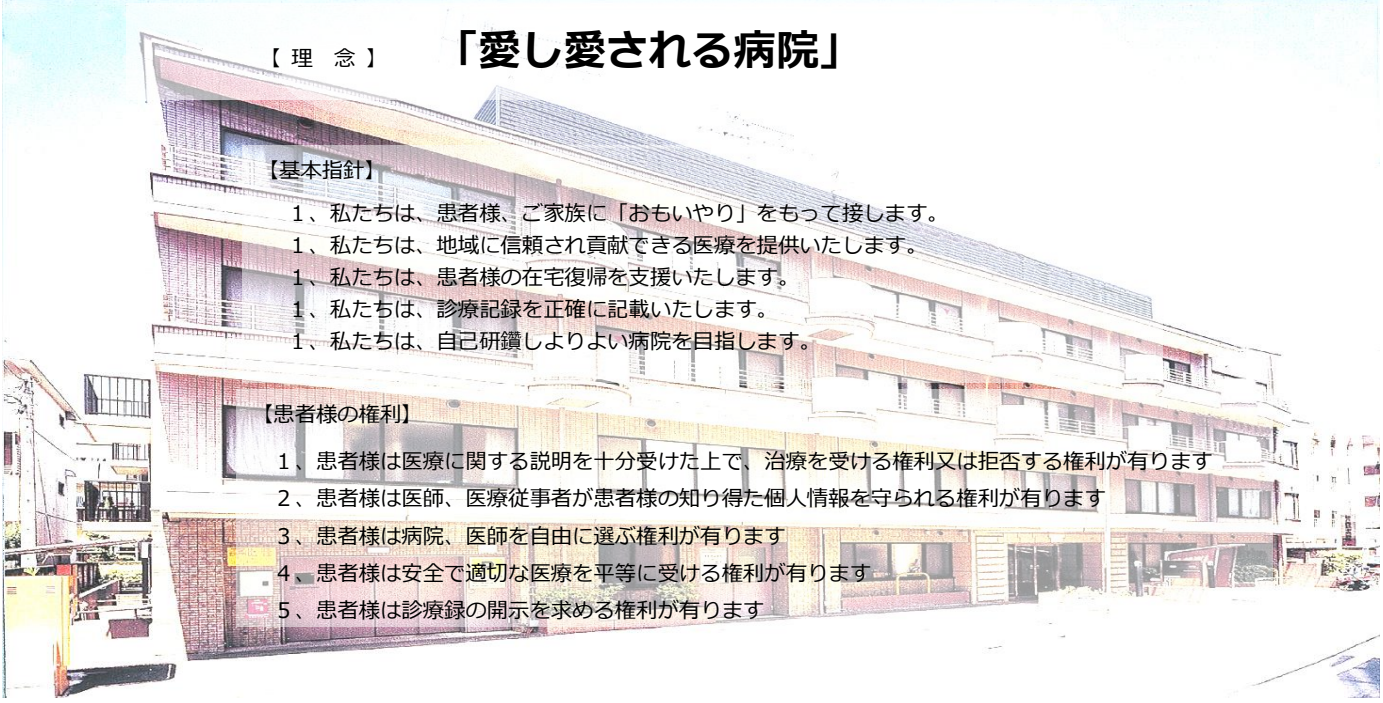
28号

杉並リハビリテーション病院

2017 年 5 月

Suginami Rehabilitation Hospital



【理　念】　**「愛し愛される病院」**

【基本指針】

1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

ごあいさつ

青葉若葉が目に鮮やかな、初夏の香りを感じる季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

早いもので、平成 29 年度が始まり２カ月が経とうとしております。

春になり、杉並リハビリテーション病院にも、新しい仲間として新入職員 18 名を迎え、新たな気持ちでスタートいたしました。

平成 29 年度は、平成 30 年 4 月に行われる、介護報酬（制度）と診療報酬（制度）の同時改定に向けての準備期間となります。今回は 2025 年問題も関係し、相当厳しい・大きな変化を生む事になると予想されております。

情報や制度にきちんと対応していく必要がありますが、リハビリテーションの専門病院として、当院がこれまで長年取り組んできた、該当疾患で、リハビリテーションを必要とされている患者様に対して、質の高いリハビリテーションを集中的に提供し、家庭復帰を達成できるよう、精一杯頑張り続けることが、全ての根本であり、取り組む方向性は変わらないものだと思っております。

これからも杉並リハビリテーション病院職員一同、この気持ちを忘れず、「愛し愛される病院」になるべく取り組んで参りたいと思います。　今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

事務長　富永（とみなが）　智己（ともみ）

回復期リハビリテーション病棟と認知症

患者さまが笑顔になれる病院づくり

　回復期リハビリテーション病棟は入院患者さまの病名が特定されますがその中で認知症状の悪化、脳血管障害に伴う高次脳障害を合併していることが多く見受けられます。

　在宅復帰を役割とする回復期リハビリテーション病棟において生活のリズムや感情面を整え、他患者さまとの交流の場や生活の再構築の場を設定することが求められます。高齢化に伴い認知症に対する待ったなしの対策が必要となりますが、認知症患者さまのケアは個別性が求められ全スタッフに対応が周知されるのに時間がかかる現状があります。認知症の治療はさまざまですが、私は人のかかわりによって症状が緩和されると思っています。

　入院した患者さまのアンケート調査で「ここに入院して表情が明るくなりました」「笑顔が見えるようになりました」など、うれしいお言葉をいただくことも多くなりました。今後も認知症看護認定師のコンサルテーションを受けながら患者様が笑顔になれる病院づくりに精進してまいります。

看護部長　園田（そのだ）　祝美（のりみ）

認知症ケアを多職種で考えよう！

認知症サポートチームの取り組み

　認知症の患者さまが安心して入院生活を送るためには、穏やかに過ごすことができない背景を知り、からだも心も落ち着いた状況になれるようケアさせていただかなくてはなりません。そのためには、さまざまな医療スタッフの力が必要と言われています。そこで杉並リハビリテーション病院では、チームアプローチができるよう、認知症サポートチーム(Dementia Support Team 以下、DST)を立ち上げました。発足してまだ間もないため、スタッフは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師で試験的に構成しています。

　DST ラウンドでは問題とされる行動を、患者さまの立場から、なぜ起こっているのかを話し合います。思ったことを言葉にすることが難しい患者さまにとって、時に行動で伝えてくる…という

ことがよくあります。その行動にはどんな意味が隠されているのかを、それぞれの専門職の立場から考えていきます。背景と思われることに患者さまの持てる力や強み、これまでのライフスタイルから対応方法や環境を検討し、多職種で介入していきます。

　まだまだ認知症の患者さまへのアプローチは慣れないことも多く、簡単なことではありませんが、少しでも多くのスタッフが目を向けていけるよう種をまいている段階です。認知症の患者さまも安心して生活が送れるよう、これからも多職種で取り組んでまいります。

看護部　藤田（ふじた）　和也（かずや）（認知症認定看護師）

認知症予防の院内活動

ラジオ体操で脳も体も活性化！

リハビリテーション科では、地域包括ケアの一翼を担うべく、医療・介護連携や介護予防、認知症予防のための活動を行っています。今回はその中で、認知症予防の院内活動についてご紹介したいと思います。

当院では、入院中の高齢者の方を対象に、リハビリ以外の時間で 1 週間に 1 回、ラジオ体操を行うことを始めました。ラジオ体操は、全身をくまなく運動できるよう組み立てられており、ラジオを聞きながら音楽に合わせて体を動かすことが認知症予防に効果が高いと言われています。脳でいろいろなことを処理し、全身の細胞が活性化され、筋力低下や老化の進行を遅らせることも期待できます。

始めは参加に乗り気でなかった方や、眠そうにされていた方も、音楽が聞こえると周りに合わせて体を動かし始め、終わると表情が明るくスッキリされています。少し体もポカポカし、血流がよくなり、眠そうだった方も目をしっかり開き、質問に返答されます。中には日付を答えて頂ける方もいます。

開始してから約半年が経ち、自主的に参加してくださる方もいます。これからも、当院の自慢である多職種連携の力で活動を広めていきたいと思います。

リハビリテーション科　野村（のむら）　素子（もとこ）（言語聴覚士）

地域包括ケアシステムにおける当院の役割

『健康教室』『家族介護教室』で積極的に地域連携!!

1/31　『コグニサイズ+社会参加を促す講座（用事の作り方・対人交流）+握力・片足立ち測定』

（ケア２４善福寺協力）

2/16　『油断大敵！家の中での転倒～どう気をつければ事故を防げるのか～』

（ケア２４善福寺協力）

今後の取組予定

７月　　上荻元気プロジェクト

８月　　上荻元気プロジェクト

善福寺はつらつ道場　（転倒予防）

今年度も、様々な取り組みを行います！

◆ 平成２９年１月～４月入院患者数と紹介元医療機関

１月から４月の４か月間における新入院患者は１３８名、紹介元医療機関は以下の通りです。（五十音順、敬称略）

大久保病院、大森赤十字病院、荻窪病院、河北総合病院、吉祥寺南病院、杏林大学医学部付属病院、久我山病院、健康長寿医療センター、厚生中央病院、公立昭和病院、国立国際医療研究センター病院、国立埼玉病院、埼玉医科大学国際医療センター、さいたま赤十字病院、佐々総合病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、順天堂大学医学部附属順天堂医院、順天堂大学医学部附属練馬病院、田中脳神経外科病院、東京医科大学病院、東京衛生病院、東京警察病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東京逓信病院、東京都済生会中央病院、東京山手メディカルセンター、荒木記念東京リバーサイド病院、都立松沢病院、西東京中央総合病院、新渡戸記念中野総合病院、日本大学医学部附属板橋病院、練馬光が丘病院、浜田山病院、府中恵仁会病院、保谷厚生病院、三鷹中央病院、武蔵野赤十字病院、武蔵野徳洲会病院、山中病院、横畠病院、横浜市立みなと赤十字病院、立正佼成会佼成病院　ほか

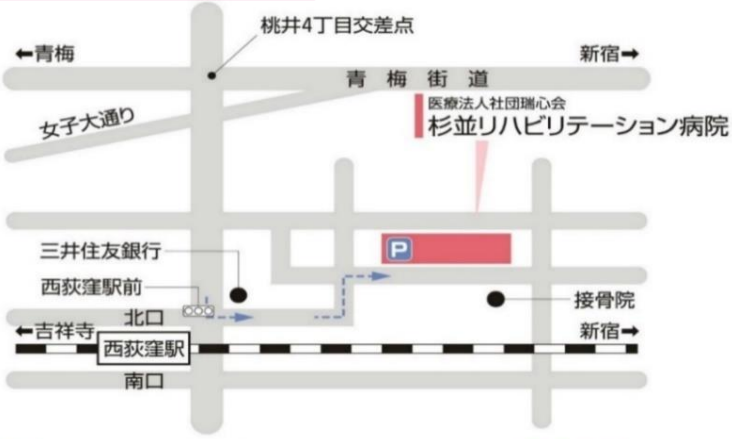
以上、４３か所　ご紹介ありがとうございました。

～当院の現況～

	平成 29 年2月	平成29年3月	平成29年4月
ベッド稼働率	99.9%	99.1%	99.3%
入院延べ患者数	2,859 人	3,145 人	3,042 人

在宅復帰率（直近３ヶ月）…92.7%
重症患者割合（直近６ヶ月）…37.8%　※日常生活機能評価で10点以上の新規患者割合
重症患者回復病棟改善割合（直近6ヶ月）…51.7%　※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

交通のご案内



■JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分

編集後記

当・広報誌は 2008 年６月に第１号が発行されてから、丸９年が経過しようとしております。その記念すべき（？）創刊号では「喫煙について」や「生活習慣病予防検診」などを記事にしており、なんとなく回復期に成りきれてない感じがちょっぴり恥ずかしく、とっても懐かしく思います。今号の編集テーマは「認知症」への対応。現在、回復期が抱える大きな課題と考え、チームにて取り組んでいるリポートを是非参考にしていただけたら幸いに思います。

（編集委員）

医療法人社団 瑞心会
杉並リハビリテーション病院
内科・リハビリテーション科

〒167-0042
東京都杉並区西荻北 2-5-5
TEL:03-3396-3181（代）

■発　　行：杉並リハビリテーション病院
■発行責任者：門　脇　親　房
■編　　集：総　務　課

http://suginami-reha-tokyo.jp/
Facebook でも最新情報を配信中♪

日本医療機能評価機構 認定第 JC1614 号

東京ワークライフバランス認定企業